

連続講座

教師入門

ー達人に聞こう！いまを生き抜く心とわざをー

教師受難の時代が続きます。大変さが増すことはあれ、減るきざしなど見当たりそうにありません。ならば、辛さに耐えるのではなく、楽しむ心とわざを身につけようではありませんか。

そこで連続講座を企画しました。達人たちが、面白楽しいわざの数々を伝授します。教師になろうと思っている方、教師なりたての方、教師を続けてきたがここで自分を見直したい方、定年まで持つか不安に思っている方、どうぞ皆さんご来場あれ！学校の実態を知りたい保護者、市民の皆さんも是非どうぞ。

主催：NPO 法人 スペースナナ／コーディネーター：山本理

第1章 学校を楽しむ生き方、教えます！

11月23日（土） 名取弘文さん（おもしろ学校理事長 映画評論家）

開場	13:30
開始	14:00
終了	17:00

教師を取り巻くのは人です。児童生徒、保護者、同僚、管理職、時には教育委員会や地域が加わります。これらの人間関係の中で、徒労感や消耗感が膨らんでいくのです。どっこい！そんな環境もなんのその、伝説の教師、ナトセンこと名取弘文さんが、学校生活を泳ぎきる極意を伝授します。

第2章 楽しい授業の作り方、教えます！

12月21日（土） 千葉 保さん（國學院大学講師 元三浦市立小学校校長）

開場	13:30
開始	14:00
終了	17:00

今時の教師にとって、授業は二の次三の次とよく言われます。他にやることが溢れかえっているのです。しかし、本来教師の主たる仕事は「授業」にこそあるはず。そこで、授業の神様、千葉保さんの登場です。本末転倒のこんな時代だからこそ、原点に立ち返り授業づくりを楽しもうじゃありませんか。

第3章 騙されない働き方、教えます！

1月25日（土） 赤田圭亮さん

（横浜市立中学校教員 横浜学校労働者組合執行委員長）

開場	13:30
開始	14:00
終了	17:00

夜遅くまで学校の明かりは消えません。しかし、これってメッチャ変じゃない？と疑う発想も感性も最近の教師は持ち合わせていません。だから今なんです！対文科省、教委、管理職と、数え切れない歴戦の勇士、赤田圭亮さんの手ほどきを受けましょう。子育てや介護など、日々に追われる普通の教師の働き方を。

連続講座のご案内

会場：スペースナナ

TEL：045-482-6717

E-mail：event@spacenana.com

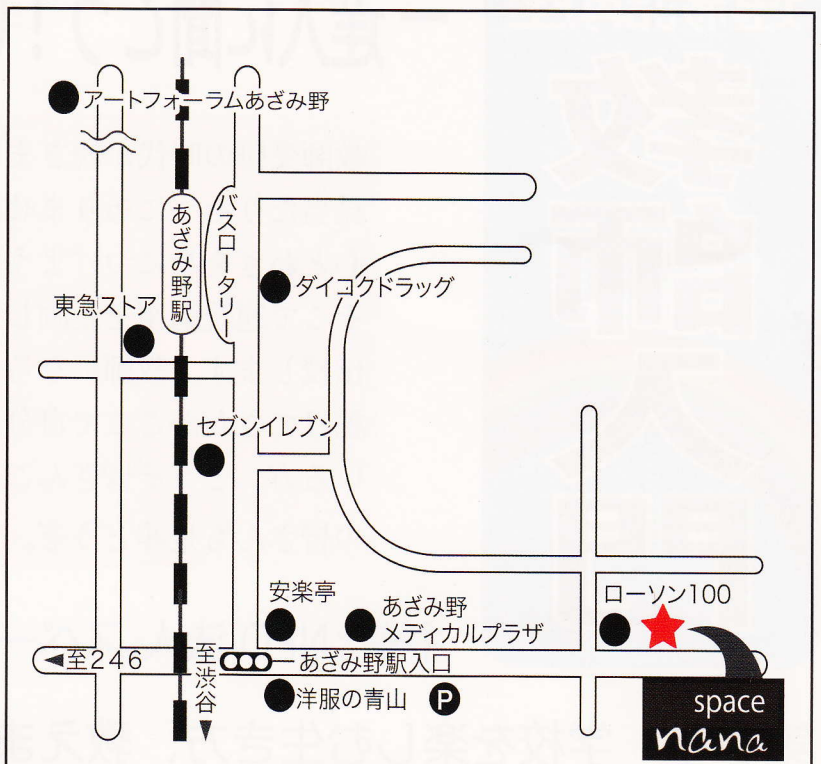
東急田園都市線 横浜市営地下鉄
「あざみ野」駅・西口より徒歩6分

参加費：大人 1,000 円

学生 500 円

子ども 無料

問合せ・申込：スペースナナ
要予約（定員40人）



スペースナナとは？

コミュニティカフェ「スペースナナ」は、教育や福祉などをテーマにこの地域で活動してきた20人のメンバーが、世代や性別、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もが安心して交流できる場をつくろうと、2010年にオープン。2012年にNPO法人格を取得。

ホームページ <http://spacenana.com>

ブログ <http://spacenana.blog137.fc2.com/>



講演者プロフィール

名取弘文さん

1945年、東京生まれ。藤沢市の小学校教員となり、1979年から家庭科専任教員として全国的に注目される。TBS ラジオ「子ども電話相談室」回答者、ラジオ短波「パッチリ7」パーソナリティ。著書に「通信簿と評価権」「世界と交信する子どもたち」、近著に映画評論「シネマの子どもに誘われて」（以上現代書館）など。

千葉 保さん

1945年、宮城県生まれ。鎌倉市の小学校教員を経て、2006年まで神奈川県三浦市の小学校校長をつとめる。「使い捨てカメラ」「ハンバーガー」「カード破産」など、身近な題材を社会の問題へとつなぐ授業を数多く作る。著書に「お金で泣かないための本」「はじまりをたどる「歴史」の授業」（以上太郎次郎社エディタス）など。

赤田圭亮さん

1953年、福島県生まれ。1976年より横浜市立中学校教員。教科は国語。現在横浜学校労働者組合執行委員長。著書に「サバイバル教師術」（時事通信社）「不適格教員宣言」「教育改革とは何だったのか」（以上日本評論社）。編著に「やさしい教師学入門」「100万人教員のためのやさしい悩みごと相談」（以上日本評論社）など。